

『ついに発売！ C型肝炎新薬 経口2剤！！』



『新薬は 半年内服 だけにする(べ)』

(「内服だけにするべ」で覚えやすいかも??)

ダケ-2スルベ→1剤-ダク(ルインザ)

2錠-スンベ(プラ)

9月3日ついに、C型慢性肝炎・肝硬変に対する経口剤のみの治療薬が

ブリistol・マイヤーズ社から新発売されました。

今までインターフェロンを使った治療が出来なかった患者さんには大変な朗報です。

抗ウイルス薬のうち、

【NS5A 阻害薬のダクラタスビル（商品名ダクルインザ）1錠】と

+

【NS3A 阻害薬のアснаプレビル（商品名スンベプラ）2錠】を、

↓

【24週間服用】する治療法です。

内服のみで約80~90%のウイルス消失率が見込まれています。

現在のところ、

【インターフェロンを使用できない理由のある“不適格”の方】あるいは

【インターフェロンを含んだ治療で一度もウイルスが消えなかった“無効”の方】が適応

ですが、

今後適応範囲が拡大していく予定です。

しかし、いくつか問題点があり、

9月3日に日本肝臓学会から更新された「C型慢性肝炎治療ガイドライン第3版」に、

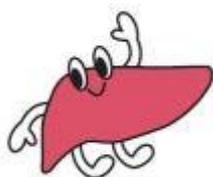
27ページに亘って記載されています。

◆耐性出現

◆副作用（肝障害 etc）

今後の新薬登場予定の事を十分理解し熟考する必要があります、

肝臓に詳しい専門医による処方が必要です。新薬の情報は今後も逐次提供いたします。



これだけ覚えておけば損はない!

今回のポイント

ついにC型慢性肝炎・肝硬変に対する経口剤のみの治療が新発売。
ダクルインザ1剤とスンベプラ2剤を24週服用する治療法。
内服のみで約80~90%のウイルス消失率の見込み。
現在は適応範囲が限られていますが今後拡大する予定もあり。
耐性出現と肝障害などの副作用に注意が必要で、専門医の処方が必要。

(文: 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫)